Drago CORSE

ThreeBond

SUPER FORMULA

2022

JAPANESE SUPER FORMULA CHAMPIONSHIP SERIES

ROUND.7/8

RACE REPORT

MOBIRITY RESORT MOTEGI

HRC Honda RACING · YOKOHAMA · URC · H one Exceed expectations · EXSTAR · FUJII KOMUTEN · KS Material · NGK SPARK PLUGS · QMI beyond the invisible · 3M · KAJIMA · Matsui Bokujo · MOTUL · Swift Springs · ODYSSEY · KRS KTEL RACE SERVICE · WPC · TONE · D.B.P · SHIBA LIVING JAPAN · ÖHLINS · MECHANIX WEAR · リポビタンD · NEW ERA

不運のもてぎ

2022 年度全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズ第 6 大会（第 7 戦および第 8 戦）が、8 月 20 日（土）～21 日（日）にかけて栃木県のモビリティリゾートもてぎ（前ツインリンクもてぎ）で開催された。チームは、前回、前々回と好感触を得たセッティングの方向性に基づいて仕上げた車両をもてぎへと持ち込み、後半戦挽回へ希望を持って臨んだ。

福住仁嶺選手（以後、福住選手）は、8 月 18 日（金）午後に行われたフリー走行後半で予選に向けてニュータイヤに履き替えタイムアタックのシミュレーションを行い、最終的にトップタイムから 0 秒 601 後れの 8 番手とし、好感触を得てフリー走行を終えた。

＜第 7 戦＞予選結果

順位	ゼッケン／氏名 タイム
1	＃64　山本　尚貴 1’30.423
2	#4　サッシャ・フェネストラズ 1’30.739
3	#65　大湯　都史樹 1’30.801
21	#12　福住　仁嶺 2’14.094

【第 7 戦】

公式予選

一夜明けた 8 月 20 日（土）は曇り空となり、気温、路面温度とも低下した。福住選手は午前 9 時 20 分から 10 分間の公式予選 Q1B 組に出走した。コースインした直後、福住選手は前日に引き続きマシンの状態に好感を覚えたが、タイムアタックに入ろうとタイヤのウォームアップを行っていたところ、コースの半ばで突然ターボチャージャーのブーストがかからなくなりエンジンのパワーが低下するトラブルが発生したため、タイムアタックを打ち切ってピットへ戻った。ピットでトラブルの原因を探ったが、その場での修復ができないままセッションは 10 分間で終わり、予選結果はノータイムとなり、予選通過基準タイムを満たすことができなかった。チームは規則に従って嘆願を行い、スターティンググリッド最後尾から第 7 戦決勝レースへの出走が許された。

決勝レース

公式予選が行われた午前中は曇り空ながらドライコンディションだったが、午後の第 7 戦決勝レースが近づくにつれて天候が悪化、フォーメーションラップが始まる前には雨が降り始めた。路面が濡れ、ウェット宣言が出されたのを受けて、チームはスターティンググリッドでマシンにレインタイヤを装着したが、この時点では天候回復の可能性もあったので、セッティングをウェット路面寄りに微調整し、コンディションの好転に備えた。レースはセーフティーカー先導で始まり、4 周目にグリーンフラッグが振られて本来のレースがスタートした。

最後尾の 21 番手からスタートした福住選手は快調で、この周のうちに 18 番手、5 周目には 16 番手へと順位を上げた。10 周を迎える頃には雨が強まり、マシンが立てる水しぶきも激しくなって追撃は難しくなっていったが、福住選手は脱落する車にも助けられて、15 周目に 15 番手、20 周目には 14 番手、27 周目には 13 番手へ浮上した。ここでコース上に停止した車両を排除するためセーフティーカーが介入した。リスタートは 29 周完了時点に行われることになり、福住選手はリスタートに向けて最終コーナーへ向かったが、そのとき後方車両から追突を受けて左リヤサスペンションを破損、リスタートすることができないままピットへ戻ったが走行続行は不能で、その時点でリタイアを決めた。

【第８戦】

公式予選

雨は夜中まで降り続いたが、日曜日の朝には上がり、薄曇りながらコースはドライコンディションとなって第８戦公式予選が始まった。福住選手は９時 35 分からの公式予選 Q1B 組に出走し、1 分 31 秒 074 を記録、その時点で Q2 進出が許される 6 番手につけた。しかしセッション終了直前、このタイムを 0 秒 079 上回る車両が現れ、福住選手の順位は 7 番手となって Q2 セッション進出はならなかった。この結果、福住選手のスターティンググリッドは 13 番手と決まった。

＜第８戦＞予選結果

順位	ゼッケン／氏名 タイム
1	＃65　大湯　都史樹 1’30.313
2	#4　サッシャ・フェネストラズ 1’30.462
3	#1　野尻 智紀 1’30.497
13	#12　福住　仁嶺 1’31.074

決勝レース

日曜日午後、モビリティリゾートもてぎ上空には薄雲がかかるものの、真夏の太陽が射し気温 31 度、路面温度 45 度と上昇する中で第８戦決勝レースがスタートした。フォーメーションラップを終え、13 番手グリッドからレースを始めた福住選手は加速良く 12 番手の選手をかわし、アウト側から 11 番手の選手に並びかかりながら第 1 コーナーへ進入した。しかしここで後続車両が追突する形で右リヤタイヤに接触、タイヤが裂けてパンク状態となってしまった。福住はスローダウンしてピットへ戻り、タイヤを交換して最後尾からレースに復帰した。ところがコースに復帰して間もない 4 周目、今度はエンジンにトラブルが発生して走行不能となり、第 5 コーナーのコースサイドに待避して停止、レースを終えることとなってしまった。

ドライバー　福住 仁嶺　コメント

金曜日の走り出しのフィーリングは、決して悪くはない感触でしたが、第７戦の予選では、タイムアタック寸前にエンジン系のトラブルに見舞われてしまい、最後尾スタートになりました。決勝はウェット路面となりましたが、割と乗りやすい感触で序盤からペースも良く、もっと行けそうな感じだったのですが、後方スタートということもあってトップ 10 の集団に追いついていくことはできず、結局リスタート時に追突されて終わってしまいました。第８戦の予選は、前日の予選で限界の感触を十分確かめることができなかったので攻めきれず、Q2 に進出できなかったのが残念です。決勝は、不完全燃焼で終わってしまいました。非常に残念な週末でしたが、鈴鹿での最終大会は思い切りレースができるよう頑張ります。

監督　道上 龍　コメント

金曜日の走り出しでは、良い流れに乗っているかなと思っていたのですが第７戦、第８戦と決勝は不運なリタイアが続いてしまいました。今週末はチームとして辛い２日間でした。福住選手がチームに来てくれたおかげでクルマの方向性は去年とは全く変わり、良い状態になってきていて、今回もそれなりの順位で戦えるだけの速さはあったと思います。ただ、第８戦の優勝者を見ていると、周囲がタイヤ交換してフレッシュタイヤを使っているのに、タイヤ交換しないままそれより速く走れていました。さすがにまだ我々はその領域に届いていないというのが正直な感想です。走る機会が少ないカテゴリーなので、レースがダメであっても走りきることで分かることがあるものですが、今回は十分データを蓄積することもできなかったのがとても残念です。鈴鹿の２連戦に向けて、徹底的に準備をして臨みたいと思います。

チーフエンジニア　伊与木 仁　コメント

金曜日は、最終的にはそれなりのタイムが出たので、そのセットをベースに仕上げて予選に臨んだのですが、エンジン系統にトラブルが出てしまい流れが悪くなりました。ウェットになった決勝ではぶつけられて終わってしまいました。第８戦の予選では、セクタータイムを見れば前半はトップと遜色ないレベルでした。ただ、前日の予選で十分走れなかったので限界まで攻めきれなかったようです。それでも良いタイムが出ていましたから Q2 に行けなかったのが残念です。第８戦の決勝では前に行けそうな勢いだったのに、自分では分からないような追突でパンクしてしまいました。その結果、勝負権はなくなりましたがデータを集めるために走り続けようとしたら、今度はエンジンが止まってしまいました。こんなに噛み合わないことは自分の経験上、記憶にありません。何とか最終戦、挽回できるチャンスが来ることを願っています。

レース結果

【第７戦】

Pos	No	Driver	Team	Time
1	64	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING	1:14'32.841
2	4	サッシャ・フェネストラズ	KONDO RACING	1:14'38.178
3	1	野尻智紀	TEAM MUGEN	1:14'40.051
4	5	牧野任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	1:14'45.469
5	38	坪井翔	P.MU/CERUMO·INGING	1:14'46.416
6	3	山下健太	KONDO RACING	1:14'48.953
7	15	笹原右京	TEAM MUGEN	1:14'50.463
8	37	宮田莉朋	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	1:14'52.164
9	19	関口雄飛	carenex TEAM IMPUL	1:15'01.979
10	6	大津弘樹	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	1:15'02.752
11	50	松下信治	B-Max Racing Team	1:15'04.334
12	53	佐藤蓮	TEAM GOH	1:15'08.789
13	36	ジュリアーノ・アレジ	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	1:15'11.465
14	7	小林可夢偉	KCMG	1:15'11.739
15	18	国本雄資	KCMG	1:15'14.538
16	39	阪口晴南	P.MU/CERUMO·INGING	1:15'16.758
17	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE	1:15'20.216
DNF	12	福住仁嶺	ThreeBond DragoCORSE	—
DNF	55	三宅淳詞	TEAM GOH	—
DNF	65	大湯 都史樹	TCS NAKAJIMA RACING	—
DNF	20	平川亮	carenex TEAM IMPUL	—

レース結果

【第８戦】

Pos	No	Driver	Team	Time
1	19	関口雄飛	carenex TEAM IMPUL	59'31.699
2	20	平川亮	carenex TEAM IMPUL	59'32.642
3	5	牧野任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	59'34.149
4	1	野尻智紀	TEAM MUGEN	59'36.412
5	65	大湯 都史樹	TCS NAKAJIMA RACING	59'37.684
6	4	サッシャ・フェネストラズ	KONDO RACING	59'38.921
7	53	佐藤蓮	TEAM GOH	59'39.795
8	15	笹原右京	TEAM MUGEN	59'46.015
9	39	阪口晴南	P.MU/CERUMO·INGING	59'57.414
10	38	坪井翔	P.MU/CERUMO·INGING	59'57.910
11	50	松下信治	B-Max Racing Team	1:00'12.169
12	18	国本雄資	KCMG	1:00'14.025
13	6	大津弘樹	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	1:00'14.576
14	37	宮田莉朋	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	1:00'14.864
15	55	三宅淳詞	TEAM GOH	1:00'15.498
16	64	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING	1:00'16.057
17	7	小林可夢偉	KCMG	1:00'40.844
18	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE	1:00'54.916
DNF	3	山下健太	KONDO RACING	—
DNF	36	ジュリアーノ・アレジ	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	—
DNF	12	福住仁嶺	ThreeBond DragoCORSE	—

Drivers Ranking

順位	ドライバー	合計	Rd.1 富士	Rd.2 富士	Rd.3 鈴鹿	Rd.4 AP	Rd.5 SUGO	Rd.6 富士	Rd.7 もてぎ	Rd.8 もてぎ	Rd.9 鈴鹿	Rd.10 鈴鹿
1	野尻智紀	113	15	3+20	3+15	3+8	3+11	1+11	11	1+8		
2	サッシャ・フェネストラズ	81	11		1+8	15	2+20		2+15	2+5		
3	平川亮	79	1+20	15	4	20	4			15		
4	牧野任祐	55	5		11	1+5	8	6	8	11		
5	宮田莉朋	43	6	2+11		2+6	5	8	3			
6	関口雄飛	38	8	5				3(QF)	2	20		
7	笹原右京	37	3(QF)	1+1		4	1	20	4	3		
8	大湯 都史樹	30	4				15	1	1(QF)	3+6		
9	山本尚貴	27			2			2	3+20			
10	坪井翔	27	3					2+15	6	1		
⋮												
19	福住仁嶺	3	–	–	–	–	3	–	–	–		

＊表中ポイント数字の左側：予選ポイント　右側：決勝ポイント

Team Ranking

順位	チーム	合計	Rd.1 富士	Rd.2 鈴鹿	Rd.3 鈴鹿	Rd.4 AP	Rd.5 SUGO	Rd.6 富士	Rd.7 もてぎ	Rd.8 もてぎ	Rd.9 鈴鹿	Rd.10 鈴鹿
1	TEAM MUGEN	132	15	21	15	12	12	31	15	11		
2	carenex TEAM IMPUL	113	28	20	4	20	4		2	35		
3	KONDO RACING	91	11	8	8	15	20	4	20	5		
4	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	70	5	4	14	7	14	6	9	11		
5	TCS NAKAJIMA RACING	50	4		2		15	3	20	6		
6	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	42	6	14		6	5	8	3			
7	P.MU/CERUMO·INGING	30	3			3		15	6	3		
8	TEAM GOH	30	3	6	1	11		5		4		
9	B-Max Racing Team	21			20	1						
10	KCMG	18		2	11		2	3				
11	ThreeBond Drago CORSE	3	–	–	–	–	3	–				